

連合愛知 1 万人総決起集会 アピール (案)

連合愛知は、本日ここに「すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう! 『底上げ・底支え』『格差是正』でクラシノソコアゲ!」をスローガンに、2018 春季生活闘争 1 万人総決起集会を開催した。

日本経済は緩やかな成長が見込まれ、堅調に推移しているものの、GDP の約 6 割を占める個人消費は伸びていない。また、超少子高齢化・人口減少社会による人口動態の変化は、社会と経済に変革を迫るものであり、労働者を取り巻く環境は、雇用の不安、社会保障への不安、賃金の不安など様々な不安に覆われている。

こうした不安を払拭するためには、「賃金は上がるもの」という社会的合意をもう一度日本全体に定着させ、「経済の自律的成長」という「正のスパイラル」をより高く大きく、社会の隅々まで届けていく必要がある。成長の鍵は、人への投資であり、「賃上げ」の継続が個人の家計を支えると同時に、経済や社会を発展させていくエネルギーとなる。

連合は、2018 春季生活闘争において、「賃上げの拡がり」と「働き方の見直し」を同時に推し進め、「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」「人的投資の促進」「ディーセント・ワークの実現」をめざしていく。働く者全体の「底上げ・底支え」「格差是正」とともに、2016 春季生活闘争より取り組んできた「大手追従・準拠などの構造の転換」と「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」の考え方を継続・定着・前進させていく。そして、「働き方改革」が社会全体で認識されつつある今、健全な労使関係のもと「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現をめざした取り組みを進めていく。

私たちは、今次闘争を通じて、労使が職場の課題に真摯に向き合い取り組みを展開することで、社会全体を豊かにする春季生活闘争の重要性を社会に拡げていかなければならない。連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、「クラシノソコアゲ応援団! RENGO キャンペーン」と連動し、すべての働く仲間とともに果敢に闘うことをここに宣言する。



2018年3月4日
2018 春季生活闘争連合愛知 1 万人総決起集会